

会議等名称	開催日時	令和3年(2021年)7月30日(金)
令和3年度 第1回箕面市保健医療福祉総合審議会		14時から16時まで
	開催場所	箕面市立総合保健福祉センター分館 2階 講堂
出席者	出席委員:明石会長、徳岡委員、林委員、石田委員、安達委員、 内藤委員、中委員、西野委員、岡本委員、岡委員 以上10名	
	欠席委員:石井委員、斉藤委員、山口委員、高林委員、村松委員、奥田委員、松端委員 以上7名	
事務局	【健康福祉部】 北村部長、村田副部長 (健康福祉政策室) 神田室長、奥野、尾崎 (障害福祉室) 溝越室長、永井担当室長、池田参事、宮崎参事 (高齢福祉室) 長谷川室長、辻参事、池本参事 (地域包括ケア室) 中村室長、後垣内参事、毛利参事、七樂参事、森橋参事 (広域福祉課) 三浦担当室長、中川 【市民部】 (介護・医療・年金室) 川口室長 (子どもすこやか室) 吉田総合保健福祉センター分室長 以上21名	
傍聴者	0名	
<資料> 【案件1】 箕面市地域福祉計画について(健康福祉政策室) 資料1-1 第2期地域福祉計画(素案)の策定に向けて 資料1-2 箕面市地域福祉計画策定チーム設置要綱(案) 資料1-3 地域福祉計画の策定体制(案) 資料1-4 計画策定スケジュール 【案件2】 箕面市障害福祉計画・箕面市障害児福祉計画について (障害福祉室、子どもすこやか室) 資料2-1 第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画の実績について 資料2-2 第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画の 各行動目標における実施状況について 【案件3】 箕面市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について (高齢福祉室、介護・医療・年金室、地域包括ケア室、広域福祉室) 資料3-1 第8期介護保険料について 資料3-2 第7期計画の実績報告について(令和2年度分自己評価) 資料3-3 令和2年度の実績報告について 資料3-4 令和2年度顔の見える総合相談・支援モデル事業の実績について(報告) 資料3-5 箕面市高齢者基本健康調査について ☆「基本健康調査」(調査用紙)・「健康教室のご案内」・「タイプ別老化度チェック」・「ささえあい通信」を当日配布		

<会議録>

【はじめに】

- ◇ 会長あいさつ
- ◇ 出席状況確認(過半数の委員が出席のため会議成立)
- ◇ 配布資料確認

(明石会長)

箕面市内のコロナの感染状況や接種状況について情報提供頂けたらありがたいと思います。

(事務局)

感染状況は、ここ数日新規の陽性者は1日5名前後となっております。ワクチンの接種状況は、3カ所の集団接種会場と関係機関のご協力を頂いて64の医療機関で実施しております。

全国的にワクチンの供給量が不足するなど問題になっておりますが、箕面市は7月30日現在で65歳以上の高齢者については1回目の接種が30,418名、接種率87.6%、2回目は25,149名、接種率72.43%と、進んでいる状況です。12～15歳の方には一昨日接種券を送付しており、医療機関の方で接種をお願いしています。16歳以上の方は接種券はすでに送付しており、8月に入ってから個別に案内を送付します。

(事務局)

本日、会議の進行につきましては新型コロナウイルス感染拡大防止の為、発言の際につきましてはマスク着用のままマイクのご使用をご協力いただきますようお願い申し上げます。

【案件1】箕面市地域福祉計画について

●事務局からの説明

(健康福祉政策室 資料1-1～資料1-4について説明)

●意見等

(石田委員)

第2期地域福祉計画をつくり直すことになったのは、2月の審議会でやり直しとなってその時点から再考しないといけないことになったと思いますが、遅れているというだけではすまないと思います。社会福祉協議会は地域福祉活動計画をつくる、市は地域福祉計画をつくる、と車の両輪のようになっています。社会福祉協議会は進んでいます。今になって、今からスタートしますということはどういうことでしょうか。

進捗状況も、「実施します」「考察を進めています」「検討します」とありますが、これから着手するということであり、なぜ今の時期に出てくるのか、もっと早くやるべきで今の段階の中間報告があって当然ではないかと思いますが、何の着手もされていないのか、どこまで着手できているのか聞きたいです。

また資料1-2の設置要綱や策定体制などは市役所の担当の内部の話で、審議会にかけるべきことではないのではないのでしょうか。市できっちり体制をつくって進めて頂いて、審議会で行うべきこととして、最終の案が出せなくても途中までの案として出せるものを出して欲しいです。

資料1-3の校区別地域検討会、テーマ別検討会、活動団体・事業所等へのヒアリング、地域

福祉シンポジウム、これらはすべて社協で活動計画をつくるためにやっています。

地域福祉シンポジウムは12月に開催されると元々わかっていたことですが、2月から6月までは一体何をしていたのか、どんなふうに着手していてどこまで進んでいるのかお尋ねしたいです。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。社会福祉法が改正され地域福祉計画の位置付けがかなり変わりました。改正により地域福祉計画は市の総合計画の福祉版のような位置付けになり、両輪の位置関係が変わりました。

計画が遅れている件ですが、2月の審議会や、パブリックコメントを受けてどういった改訂をしていくか非常に悩んでいました。前回の審議会で示した素案を今回改訂するにあたり関係各所に相談し、骨格部分をつくっていました。細部は骨格部分が変わるとまた変わるので骨格部分を慎重に進めてきた結果であり、市として着実に進めたいという思いでやってきた結果だということを理解して頂きたいと思います。

今回資料として要綱を示しましたが、前回の審議会でもご指摘頂きましたように、庁内の福祉の部門だけでなく全庁を巻き込んでしっかりと議論をして、いいものをという意見を頂いたので、そういったことから関係室等を含めてメンバーを選定したのでご意見があれば頂戴したいと思っています。

スケジュールはかなり遅れていますが、現段階で策定に至るまでのプロセスはこのような形になりますが、可能な限り前倒しできるものに関しては今後努力していきたいと考えておりますので、今後の市の動きを見守って頂きたいと思います。

(石田委員)

遅れているものは仕方がないが、市の仕事から考えればもっときっちりできたはずです。市の職員はスケジュール通りにしっかりできるはずで、社協もそれを学んで今約束通りの日時を守るようになっていきます。これから先の仕事で見せてください。

そして骨格部分を決めようと骨格部分を話し合ったということであれば、その骨格部分をここで出すべきです。私たちが知りたいのは地域福祉計画の中身です。どんな人たちが関わるのかはお任せで、意見としてはいろんな人たちが関わってくださいということが出たのかもしれませんが、ここまで私たちに知らせる必要はなく、内部でしっかりやってもらえたらそれでよいのです。

リーダー、サブリーダーは誰がやるのですか。

(事務局)

リーダーは私(神田室長)がやります。サブリーダーは未定ですが、子ども未来創造局で検討しています。

(石田委員)

わかりました。それで良いと思います。

シンポジウムは社協の60周年でやりますが、それ以外にシンポジウムがあるのでしょうか。

(事務局)

そのシンポジウムのことです。

(明石会長)

ご指摘を受け止めて、できるだけスピードアップでお願いします。

【案件2】箕面市障害福祉計画・箕面市障害児福祉計画について

●事務局からの説明

(障害福祉室、子どもすこやか室 [資料2-1](#)・[資料2-2](#)について説明)

●意見等

(石田委員)

[資料2-2](#) 1生活環境の整備のP.8/8の「災害時要援護者」への対応を盛り込んだ防災訓練等の実施の①に「訓練を進めます」とありますが、実際のところはどうのようにされているのですか。

(事務局)

令和2年度については(コロナの影響で)実施しておりませんが、平成30年、令和元年はシミュレーション訓練ということで、要安否確認者名簿の記載者のところに健康福祉部職員がライプラから安否確認に行く訓練は行っております。

(石田委員)

安否確認に行かなければならない障害者はどれくらいいますか。実際、全部確認することは可能なのでしょうか。

(事務局)

すみやかに安否確認すべき方をランク付けしています。障害福祉に該当する方は70名程度ですが、6時間以内に確認しないといけないかた、12時間以内に確認しないといけないかたになるとかなり少なくなります。高齢者も含めて安否確認をできる体制をつくっていくという状況です。

(明石会長)

民生委員さんなどが実際訓練されてシミュレーションをされている地域もあります。

(安達委員)

[資料2-2](#) 4療育・教育の充実のP.4/5の3の①にある「看護師等」には正確にいうと正看護師・准看護師が含まれるのですか。

(事務局)

今現在のところ確認ができておりません。

(安達委員)

数の方は順調にいつているのですか。

(事務局)

確認が必要ですが、人数の確保については子どもたちの数を見ながらやっております。

(徳岡委員)

障害者の支援の中に歯科的な観点が入っていますか。障害者の中には全身麻酔しないと治療できない人もいます。食育が大切です。どういう食事をすれば虫歯にならないかということを教えていかないとけません。虫歯になってから治すというのは時代遅れです。

また災害時には歯ブラシが必要です。神戸の震災のとき、歯磨きをした人としていない人で健康状態に差がありました。そういったことも体制の中に入れて欲しいです。

そしてスポーツ飲料は酸性が強いのでだらだら飲むと虫歯になります。障害者の人へも伝えていって欲しいです。

(明石会長)

障害者の歯科衛生はどうなっているのかということですね。[資料2-2](#) 3保健・医療の充実2 P.2/3の2の②に歯科医療機関への通院が難しいかた～というところに書かれていますね。

(事務局)

おっしゃってくださったところに「在宅ケアステーション」の記載がありますが、予防の概念が十分ではないかも知れません。幼保・小中学校では障害のある子に特化したわけではないですが、歯科の教育が入っていると聞いておりますので、先生のおっしゃったスポーツドリンクの件、リスクの啓発をどうしていくか助言として受け止めたいと思います。

(徳岡委員)

虫歯にならない食事、栄養だけでなく、いかにして虫歯にならせないかが大切です。

(明石会長)

良い助言を頂きました。

(岡本委員)

資料2-2 2雇用・就労の充実の5頁5の1の②の箕面市優先調達推進方針のところですが、就労支援B型であったり生活介護であったり利用者さんの工賃に直結するところですが、前年度から1千万ほど下がっています。件数としては増えていますが、今後の単価のところであったり、仕様が変わったことにより障害特性のあるかたには困難な部分があり、工賃に直結しないところがあるので、その視点で今後の方針が何かあれば教えて頂ければと思います。

(事務局)

ひとつめの黒丸のところの金額については、箕面市の各担当課がゴミ袋だけではなくいろいろな消耗品を障害者関係団体に発注しているもので金額の比較が難しいところがあり、年度によって同じものでも金額が違ったりします。件数については引き続き実施率が高まっていくようにしていきます。

ふたつめの黒丸ですが、これにつきましても今年度も継続してやっていきますので関係団体と意見交換しながら、どうやったらやりやすくなるのか話し合いながら引き続きやっていこうとしているところです。

【案件3】箕面市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

●事務局からの説明

(高齢福祉室、介護・医療・年金室、地域包括ケア室、広域福祉室

資料3-1～**資料3-5**について説明)

●意見等

(明石会長)

資料3-1 を見ますと、介護保険料が安い方が要介護認定率が低い傾向があるように見えます。単純には言えないと思いますが、そういう相関があるように思います。

(石田委員)

箕面市の介護保険料が安くてびっくりしました。要支援・要介護にならないよう、それぞれが頑張っていたらこのように介護保険料も安くなると、易しく言えばそういうことですね。

(明石会長)

積み立てを崩していることも保険料に関係してくるので一概には言えませんが、理屈で考えると介護認定率や介護サービスを使うことが少なければ全体的にサービス量が減るので保険料が低くなるということですね。ですから介護保険料を安くするためにはみんなが元気で介護サービスを

必要としない状態が一番低くなるということです。箕面市は介護予防に非常に力を入れてやって頂いているので介護保険料もあまり高くないのではないかと考えています。石田委員のところの社協の地域福祉も寄与していると思います。

資料3-4でささえあいステーションの報告がありますが、感心したのは銀行やコンビニで気になる認知症のかたがいらっしやったり、酒屋さんなどで気になる高齢者がいるということでささえあいステーションに知らせてくれたり、地域の目がささえあいステーションにつながっていると思いますし、地域相談で葬儀屋さんが地域福祉に役立てたいとか薬局さんがお薬出前講座を提案をしてくれたり、市民の申し出があったり、こういうのを聞くと地域には地域のために役に立ちたい人がずいぶんたくさんいらっしやることがわかります。ささえあいステーションがなければこういう情報が集まってこないし困っている人に手を差し伸べることができないので、ささえあいステーションの活動がもっと広がっていけばもっと地域の人が協力してくれたり、助けてと言えない人が見つかったり、非常に効果を発揮していくと思います。子ども食堂がオープンしたりゴミ出しなど様々な課題の解決に取り組まれているので、市全体に広げていけたらいいなと思います。

(西野委員)

明石会長と同じようなことですが、資料3-4のところですが私もこの4月から民生委員・児童委員を引き受け、4月から2件、高齢者でひとり暮らしでいろいろと問題を抱えたかたがいらっしやって、地域包括支援センターと連携を取りながら一緒に見守り活動や介護支援など活動しております。連携を強化して課題解決のために活動することはとても大切なので、この方面にも是非力を入れて推進して頂きたいと思います。

(明石会長)

ありがとうございます。民生委員のかたのご協力をよろしく願いいたします。

(内藤委員)

介護保険料が安く抑えられているのは、他市町村に比べて認定基準が厳しいわけではないと思いますが、要介護になる認知症や生活習慣病、脳血管疾患など、そういったものが改善してきているというデータはありますか。

(事務局)

今回8期計画をつくるにあたり、原因疾患の分析を行っております。8期計画書の12頁に書いてあります。例えば要介護2から5であれば脳血管疾患が最大の要因である、要介護1であれば認知症、要支援1・2であれば骨関節疾患が最大の要因であるという傾向は第7期から変わっておりません。発症状況を医療費からみるというところについては現在はそこまでできていませんが、今年度から後期高齢者のかたの保健と介護予防の一体的実施を本市も開始しているので、国保連の医療費のデータの分析を少しずつ始めているところです。今後、先生がたのご助言を頂きながら分析をしていけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

(内藤委員)

相談事を見ますと虐待や生活困窮の問題がありますが、コロナ禍の影響はあると思いますがその中でもレベルを落とさず続けていく工夫や体制はどうでしょうか。

(事務局)

令和2年度はコロナ禍ということで虐待が多かったと思われませんが、令和3年度も引き続き虐待を発券したときは、ヘルパーやケアマネジャーに報告を求めており、そのための研修もしております。

(林委員)

地域で要望があれば、薬局がお薬出前講座を開くと資料にもありましたが、また私個人的にも男性介護者のつどいにお呼び頂きお話ししましたが、その中で薬局薬剤師が今目指しているのは“処方箋がなくても気軽に入れる薬局”です。調剤薬局は調剤しかやっていないイメージができつつある中で、ファーストアクセスとして処方箋を持っていなくても入りやすい薬局を、市の健康福祉部のかたがた、あるいはこの審議会の中でも話題提供したいと思って発言させて頂いております。我々薬局側の今のキーワードは“健康サポート薬局”です。健康サポートのために薬局も地域に向かって協力できることがあればと思って発言しています。市民のかたがその地域で健康に暮らしていく地域包括ケアシステムの中に薬局も一員として加われればと思います。

(明石会長)

“健康サポート薬局”、良い言葉ですね。神戸市では薬局でフレイル事業をやっています。薬局も地域活動にご協力頂きたいと思います。

(安達委員)

資料3-3 4頁に居宅サービスの表がありますが、この中で特に令和2年度は通所介護・通所リハ・短期入所の実績給付率が下がっております。原因としてはコロナの感染が市内のデイサービス数カ所で発生したということで閉めたり、利用者の不安、受け入れ側も熱があれば利用を控えて頂くなど慎重になり、非常に厳しい状況にあることを報告させて頂きます。

(明石会長)

ありがとうございます。

アンチエイジングのポイントということで、見た目・筋力・お口・脳とありますが、特に脳トレで脳がどれくらい若返るのかなと思うのですが、こういう事業をされてビフォーアフターのデータはとっておられますか。

(事務局)

脳トレに関しては島根大学の医学部が開発された簡単な認知テストをやっています。初回と12回コースの最終回にもう一度テストをすると、タブレットでやっているの慣れもあるのかも知れませんが、やはりみなさん良くなっています。骨盤底筋トレでポッコリお腹予防コースでは最初にお腹まわりを測り、4回コースの最後にまた測って、2cm下がった、5cm下がったと喜んでくたがいらっしまいました。全員が全員なかなかひと月では下がらないのですが、実際「太った」よりは「現状維持」か「少し細くなった」ということで評価をさせて頂いております。

【案件4】その他

●事務局からの説明

次回の審議会予定について(健康福祉政策室)

●意見等

(明石会長)

委員のみなさまから貴重な意見、たくさん頂きましてありがとうございました。以上をもちまして令和3年度第1回箕面市保健医療福祉総合審議会を閉会いたします。

以上